

2022年7月13日

11月祭事務局

第64回京都大学11月祭全学実行委員会への提案

1. 議事(案)

- (1) 第65回11月祭の日程について
- (2) 第64回11月祭の開催形態について

2. 第65回11月祭の日程について

前回の全学実行委員会にて、

第63回京都大学11月祭全学実行委員会で承認された第65回11月祭の日程について、大学から日程を変更したいとの連絡があった。具体的には、全学実行委員会では11月23日(木・祝)～26日(日)の日程が承認され、これを大学に提案したが、大学が希望した11月祭の日程は11月22日(水)～25日(土)である。理由としては、全学実行委員会が提案した日程では、月曜日の授業数が足りず、曜日振り替えの数が多くなってしまうため、とのことであった。

これについて、事務局としては、全学実行委員会の提案通りの日程にすることができないか、大学と話し合いの場を設け、協議を行いたいと考えている。

と報告し、その後、大学との協議を行った。その際、①大学の案では休日の日数が減ってしまうこと、②学生の自主性が重要であること、③日曜日が地域住民的にも学生的にも参加人数が最も多いと予想されることを理由として強調した。

これに対しての大学の回答は、「学生の意見は重要であり、また休日の日数の減少や日曜日の開催意義も分かるが、全学の意見を踏まえながら総合的に考えると、やはり曜日振り替えを減らすことの優先度が高く、このような形になった」という主旨のものであった。

事務局としては、粘り強く交渉をしたが、やはり大学の意見が変わる気配がなかった。また、大学のアカデミックカレンダーの作成期限もせまっているとのことである。これについての対応を全学実行委員会で話し合いたい。

3. 第 64 回 11 月祭の開催形態について

第 64 回 11 月祭の開催形態について、以下のことを報告する。

大学(課外活動掛)からは、

- ・吉田南グラウンドの使用は、感染状況にもよるが、現時点(6月下旬)では問題ないだろう。

- ・会場内での飲食は、現在の新型コロナウイルスの流行状況や大学のガイドラインから実施が難しいものである。

- ・屋内の使用については、教室の衛生管理を保てないとの理由で貸出が難しいと、国際高等教育院から連絡を受けている。

と言われている。

これらについて、11月祭は学生の日々の課外活動の成果を発表する機会であり、また文化の継承の観点からも重要な機会であるので、それらの意義を強調しながら、また他大学の学園祭の実施状況も示しながら、大学と交渉していきたいと考えている。